

議会活性化特別委員会 行政視察報告

1月16日から17日にかけて、委員10名、議長、事務局随行者2名の合計13名で、東京都町田市、東京都葛飾区を訪問し、住民参画や情報共有の取組、子ども区議会などについて視察してきました。

■東京都町田市

～住民参画の取組について～

町田市議会では、直接市民の民意が反映される委員会審査を行うことを目的とし、平成21年度から請願者の意見陳述を委員会開催中に行っています。

請願者が所管委員会の委員に対し、提出された請願書における請願の趣旨説明として、請願を提出するに至った



町田市議会

思いや意見を述べ、意見陳述終了後に委員が請願者に質疑を行うものであるとのことでした。請願者から直接意

見を聞くことで、請願の採択、不採択を決定する審査にかかる時間が短縮でき、また、直接質疑を行うことで、請願に反対していた委員が賛成に変更した実績もあり、請願者の思いをより詳細に把握した上で審査できているとのことでありました。

～情報共有の取組について～

町田市議会では、ホームページ上に議案審査の様子を分かりやすく示した「議案のカルテ」を掲載しています。従来は、市民が議案の審査結果を把握するには日付ごとの会議録を閲覧しなければならず、会議録の公開は閉会日から約2か月間かかり、1つの議案がこういった過程で審査され、議決されたのかが分かりづらいという課題がありました。

「議案のカルテ」では、全議案ごとに概要、委員会審査の様子、議決結果などを掲載しており、閉会日から約1

週間後に議案の審査結果をホームページ上で確認でき、また、「委員会審査の様子」には、本会議閉会日に各所管委員会の委員長が報告した内容を掲載しているとのことでありました。

さらに、この取組が早稲田大学マニフェスト研究所に評価され、令和2年にマニフェスト大賞優秀賞を受賞したとのことでありました。

加賀市議会においても、ホームページ上に委員会審査の経過を掲載していますが、「開かれた議会」を旨とする上で、より市民が分かりやすい形で掲載する必要があると感じました。

■東京都葛飾区

～子ども議会について～

葛飾区議会では、次代を担う小・中学生の議会制民主主義への理解と区政への関心を深めるとともに、小・中学生から区に対する要望や意見等を聴取し、今後の区政運営の参考とする目的で、子ども区議会を平成9年度から毎年実施しているとのことでありました。

子ども区議会では、小学5年生から中学3年生までの児童・生徒を公募や学校からの推薦などにより募集し、8月の夏休み期間に開催する事前学習会などで、質問の作成や正副議長の選任などを行い、12月に子ども議員として本会議及び委員会形式で質疑等を実施しているとのことでありました。



葛飾区議会

子ども議員からの意見は、適宜、区議会議員が定例会等の質問に反映しており、公園の遊具設置や学校体育館のエアコン設置などにつながったことでもあります。

加賀市議会においても、子ども議会は今任期の議会改革検討項目であり、子ども区議会を参考に、より充実した取組となるよう検討していく必要があると感じました。

■視察を終えて

今回は、住民参画の取組や子ども区議会等について、先進地を視察してきました。

両市議会とともに、議員から直接、実情や課題点などを聞くことができ、今後の議会運営を進めるうえで、大変良い刺激となりました。

今回の視察で学んだことを踏まえ、住民参画の取組や情報共有の取組、子ども議会の実施等に関する検討を進めていきたいと思っております。